

# 前回委員会のご意見への対応状況

令和5年3月10日  
生活環境調査委員会（第4回）

# 前回委員会のご意見への対応状況

## 対応方針

今後実施する予測評価については、前回委員会のご意見を踏まえて、以下のとおり対応します。

ご意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 降雨による表流水の流出状況の考察について、各流域からの収支を踏まえて、総合的に評価しないと各流域からの水収支は判断できないのではないかと思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画地内に三角堰を複数箇所設置し、流量の連続測定を行うとともに、現地雨量の連続観測を実施してまいります。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ ボーリング孔No. 4の水位変動が気になる。</li><li>・ 県の観測結果と今回の観測結果を組み合わせ考察したほうがよいのではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県の調査結果を整理するとともに、自記水位計による連続観測を実施し、No. 4の水位変動量と降雨の相関関係を整理してまいります。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予測に関して、資料に予測式や方法について、具体的な根拠の記載があると、意見しやすい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 資料に予測式や方法、予測条件の根拠などを示すようにします。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大気質の予測について、濃度を算出するのか、排出量を算出するのか、濃度であれば濃度分布を示すのか、敷地境界での濃度を示すのかといったことを明確に示したほうがよいと思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予測手法毎に、明確化してまいります。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 景観や人と自然の触れ合いの活動の場の調査は、地元の方でないとわからないことがあると思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地元の方に説明する機会において、意見を伺ってまいります。</li></ul>